|  |  |
| --- | --- |
| 被災職員所属・職・氏名 |  |
| 災害発生年月日 | 　　令和　　年　　月　　日　午前・午後　　　時　　　分ごろ |
| 傷病名 |  |
| 現認又は事実証明の内容 |  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
| 現認しました。証明します。 上記のとおり　　　　　　　　　（いずれかを○で囲む）令和　　年　　月　　日｛　　　　　　　現認者又は　　　　所属（住所）　　　　　　　　　　　　　の　　　　　　　事実証明者　　　　職・氏名 　　　　　　　　　　　　　 |

支部様式　1

現　認　書

事　実　証　明　書

〔記載上の注意〕

１　現認者は、災害発生の現場に居合わせた者であればよく、職員に限定されない。

２　現認者本人が記載することを原則とする。

３　災害発生を目撃した状況をできるだけ詳細に記載すること。

４　災害発生直後の状況についても、具体的に記載すること。

　　 例えば、起き上がることができないでいた、出血していた、救急車で病院へ運ばれた等

５　事実証明の場合は、現認した者がいないときに、報告を受けた上司等が、その後の対応、調査した内容等について記載すること。

６　災害発生状況図（支部様式１－２）を添付すること。